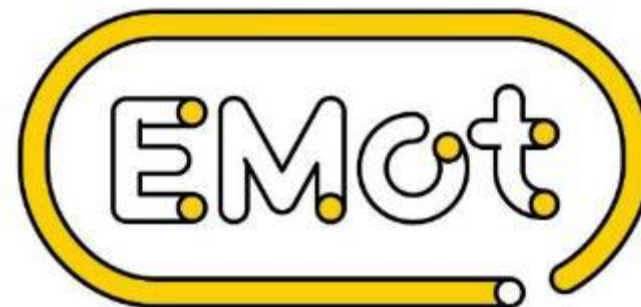




# 小田急のMaaS取組み

2021年2月

もっといい「いきかた」



Mobility with Emotion



# ■ 小田急グループについて



国内有数の  
ビジネス・商業拠点

**新宿**



日本を代表する  
観光地

**箱根・江の島**

住みやすい住宅エリア

**世田谷  
川崎・多摩  
県央 e.t.c**





# ■ 従来の私鉄モデルからの脱却

「新しい小田急」への転換点  
50年来の悲願であった複々線の完成



「新しい小田急」へ



1927年 小田急線開業

- 1957年 ロマンスカー・SE就役
- 1960年 箱根ゴールデンコース開通
- 1962年 小田急百貨店開業
- 1963年 ストア事業開始
- 1964年 小田急不動産設立
- 1974年 御殿場ファミリーランド営業開始
- 1974年 多摩線営業開始
- 1980年 ホテルセンチュリー・ハイアット開業

急激に変化する  
事業環境

1927年

2018年

# モビリティ × 安心・快適

～新しい“モビリティ・ライフ”をまちに～



90年間積み上げてきた安心・快適という普遍的な価値を  
揺るぎない土台としながら、これからのテクノロジーを活かして、  
「会いたいときに、会いたい人に、会いに行ける」、  
次世代の“モビリティ・ライフ”をまちに生み出します。

# ■ 小田急を取り巻く事業環境の変化

※自家用車ネガティブ層とは、  
✓ 0～19歳、70歳以上  
✓ 20歳～69歳の免許非保有者

- 人口減少（特に生産年齢人口）
- 外出率の低下
  - 若者、75歳以上の高齢者
- 移動の見直し
  - EC、デリバリー
  - テレワーク

- 自家用車ネガティブ層の増加
  - 高齢者の免許返納者
  - 自動車保有率低下
- 移動弱者を支える運輸業の使命

「やがて来る未来」と想定していた移動の減少は、  
コロナによって「目の前の現実」に

コロナ前後で大きなトレンドは変わらず

自動運転技術をはじめとする次世代テクノロジーを積極的に取り込みながら、  
多様な交通モードのシームレスな連携による移動サービスの提供、  
すなわち **「MaaS (Mobility as a Service) 」の実現**を目指す





## 統合型

シームレスな交通サービスの統合。  
いわゆるMaaS

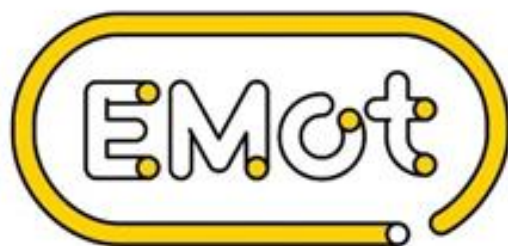
## 次世代サービス型

テクノロジーを活用した  
新しい交通サービス

新しい体験価値の提供や移動手段・目的のシームレスな連携を目指したサービスの統合

- ✓ MaaSアプリの開発
- ✓ 様々なサービス連携

もっといい「いきかた」



Mobility with Emotion

運転士不足への備えや高齢者に対する自家用車移動以外の選択肢提供を目的とした二次交通の高度化

- ✓ 自動運転バス/タクシー
- ✓ オンデマンド交通



# ■ 取組み紹介① 自動運転



2018/6

2018/9

2019/2

2019/8

2021/1

@慶応SFC



キャンパス内

@江の島



公道走行

@多摩NT



公道走行

@江の島



公道走行

@江の島



公道走行



## ■ 取組み紹介② 2つのオンデマンド交通



### E-バス

第一期：2020年11月～12月

第二期：2021年1月～3月【実施中】

#### 東京都町田市 山崎団地周辺

- 1960年代の団地（約3500世帯）
- 町田駅からバス約20分。周辺には交通空白地区



### しんゆりシャトル

第一期：2020年2月～4月

第二期：2021年2月～5月(予定)

#### 神奈川県川崎市 新百合ヶ丘駅周辺

- 乗降約13万人/日の駅周辺
- 駅前に商業施設、周辺は戸建住宅





## 取組み紹介③ MaaSアプリ「EMot」



もっといい「いきかた」



Mobility with Emotion

いつもの道が  
**「行き方」**を変えるだけで  
新しくなる

移動することで  
心や経験が豊かになって  
**「生き方」**が変わる



もっといい「いきかた」



Mobility with Emotion



複合経路検索



電子チケット



リアルタイム情報表示



混雑予報の表示



オンデマンド交通予約

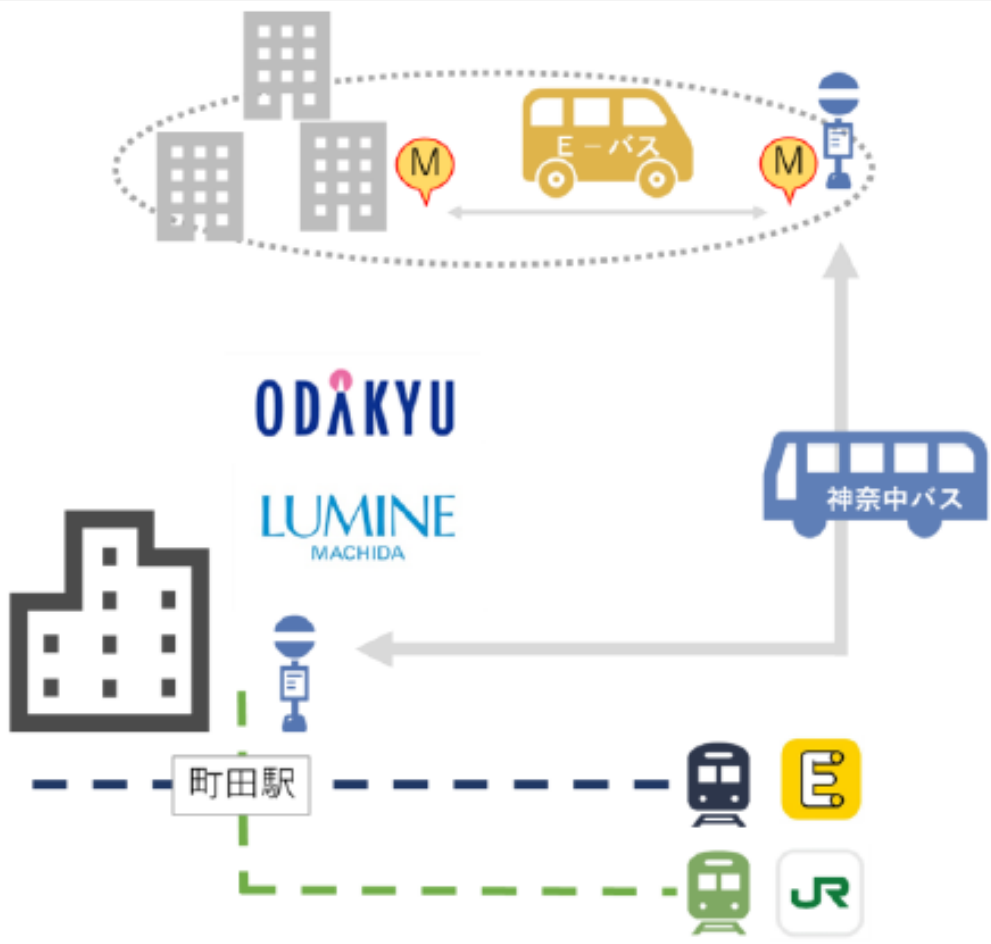


周遊プランニング





## 町田市での実証概要



## オンデマンド交通 E-バス の運行

施策  
01

第二期：2021年1月18日～3月12日

- 全26か所の仮想バス停を設け、1乗車100円の有償にて運行中
- 介護施設とも連携



## 商業施設 × 公共交通

施策  
02

小田急百貨店町田店・ルミネ町田いずれかで一定金額以上お買い上げいただくと、「E-バス」と路線バスの往復無料チケットを提供

## JR東日本とのMaaS基盤連携

施策  
03

小田急・JR東日本それぞれの公式アプリで提供するリアルタイム運行情報を相互に共有し、それらを考慮したりリアルタイム経路検索結果を提供



## 施策 01

### 複数の交通サービスを統合した お得な電子チケットの提供

- 「デジタル箱根フリーパス」の発売
- 駅や旅行代理店を通さず、スマホのみでチケットの購入から旅の周遊が可能



## 施策 02

### 人気観光スポットのお得な電子チケットの提供

- 温浴施設「箱根湯寮」のお得なチケットを発売  
※通常の入浴料金と同額でレンタルタオルセットが無料
- スマホのみで「デジタル箱根フリーパス」と合わせて、便利でお得な「移動+消費・体験」が可能





# MaaSアプリ「EMot」と、オープンな共通データ基盤「MaaS Japan」



他のアプリとの連携

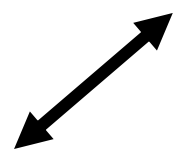
他社 MaaS アプリ

立川おでかけ

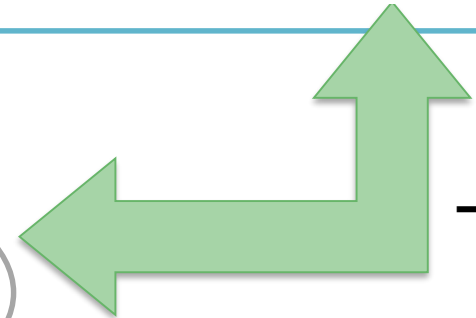
whim.

基盤提供  
一部機能API提供  
(予定含む)

- 検索エンジン
- 周遊プランニング
- その他の機能・サービス
- 様々な交通サービスの予約・配車システム等



連携



次世代の“モビリティ・ライフ”の実現に貢献したく、  
**様々なプレイヤーがMaaSの取り組みを  
加速できるような環境の整備を進めます。**



経営戦略部 次世代モビリティチーム

古賀 裕一郎

[yuichiro.koga873@odakyu-dentetsu.co.jp](mailto:yuichiro.koga873@odakyu-dentetsu.co.jp)

 @Mobi\_Specialist

自分のメモ代わりにですが、MaaSについてつぶやいています